

## 【社会貢献部会の活動報告】

### 2017年「子ども霞が関見学デー」に出展

「子ども霞が関見学デー」は、中央省庁等の業務説明や省内見学会、関連する団体の様々な体験プログラムから成る、子ども向けの体験型イベントです。今年は8月2、3日に開催され、本学会も環境省の会場（合同庁舎5号館）に2回目の出展をしました。

工学会では昨年同様、音の出るおもちゃで遊べる“体験コーナー”と“工作コーナー”を設置しました。今年工作したおもちゃは「声コプター」です。紙コップの底に楊枝の軸を貼り付け、その先端に紙のプロペラを付けたもので、紙コップの中に向かって声を出すとプロペラが回ります。大声でないとプロペラが回らないので、「もっと大きな声を出してみて」「恥ずかしさを捨てて」と、鼓舞しているうち、皆さん大きな声が出るようになりました。引率の大人からは「原理は振動ですね？」という理系発言や、「騒音制御の学会だけど、騒音を出してるんですか」という鋭いツッコミも聞かれました。声コプター製作数は350個、来場者は500人ほどの、賑やかな2日間でした。



工学会ブース全景



声コプター  
来場者の作品です



完成したら、さあ、大きな声で！回るかな？



グラスハーブ  
澄んだ音が会場に響いていました



ガリガリとんぼ  
子どもはすぐにコツを覚えてしまいます



賑わう声コプター工作コーナー  
スタッフも大忙し



女の子はデコレーションに夢中



自分だけの作品に仕上げられるのは  
やはり楽しいようでした